

# 中日ニュース

第二三〇号 内容

高野六五号

## 一、もたつく特別国会

総選挙後の第二十九特別国会は、六月十日召集されました。初めて登院する一年生議員に次いでまだ足の不自由な石橋さん、また鳩山さん、吉田さんから元総理大臣の姿もみられました。吉田さんは、今池田派といわれる側近に囲まれて御機嫌です。

その頃社会党では、国会役員の独占をほめかした自民党の独裁を非難。こうして議長、副議長など国会を構成する役員椅子をめぐって冒頭から波乱を呼びました。ところがこれにあきたらない自民党は、鈴木事務総長を外に連れ出し因果を含めて強引に開会を迫るなど一時は険悪な雲行きを見せました。かくて衆院本会議は時の記念日にも拘らず十二時間もおくれで開会。会期を決めただけで、この日は首班指名もお流れ、第二次岸内閣の行方は葉巻を許されないようです。

PTO

## 一、クマの芸術家

来日中のソ連国立ポリシヨイサーカスの人気ものは十七頭の熊の「芸術家」たちです。世界中をびつくりさせた、さか立ちやブランコ乗り、そして最大の呼びもののボクシングなど珍芸、好技を日本のお客さん達にはじめて公開して人気をよんでいきます。

## 一、道けわしド・ゴール政権

左翼分子のデモ隊と警官隊とがパリ市内の各所で衝突する騒ぎの中で、六月一日ド・ゴール將軍は三二九対二二四で議会から信任をうけ。その夜、どしや降りの雨の中で組閣も終り、ド・ゴール政権は漸く注目のスタートを切りました。ド・ゴール政権成立により、内乱の紛争は一応避けられました。アルジェリアの民族開放の抵抗は益々激化をたどり、フランスとド・ゴール將軍の前途は全くけわしいようです。

## 一、勤評闘争ついに乱闘

日教組の定期大会は六月六日から五日間、山形県の上山中学校でひらかれ、愛媛県の代表に次いで和歌山県の代表が勤評闘争の経過を説明しました。地元和歌山では、県教育委員会が話合つて実施を決めるといふ約束を破つたため、県教組側は五日から三日間、一斉休校して話合いの場を要求しました。こうして団体交渉は昼夜の別なく行われましたが、部落解放の特殊問題もからんでいっただけに交渉は難航、教育委員会側の足並も大きく乱れました。この機に乗じて闘争はいよいよ激化、八日には遂に検束者も出しましたが、これに抗議する組合側は県庁に坐込みを行い再度警官隊との間にマサツを起しました。こうして道徳教育にまつわる勤務評定は、充分な話し合いもなされないまま当局の一方的な実施と警察の動員などが不用な混乱を招いていますが、子供たちは明るい解決を求めているようです。

1970

1970

1970

1970

製作配給 東京中日新聞、中部日本ニュース映画社